

ひとくち法話

ほうりんほうじゅ

宝林宝樹 (1)

最近、お隣さんの畑を少しお借りして野菜作りを始めました。ジャガイモを植えようと土起こしをしていると、昨年収穫し忘れたジャガイモがいくつか出てきました。このジャガイモは、先日、八十歳でお浄土へと帰られた隣のおじいさんが育て収穫し忘れたものです。生前のおじいさんの日課は畑仕事でした。収穫したての美味しい野菜を孫たちに食べさせてあげたいといつも話しておられました。収穫し忘れたそのジャガイモを一つ手に取ると、朝から晩まで汗を流して畑を耕しているおじいさんの姿が思い返されるとともに、ジャガイモに込められたおじいさんの深い愛情と願いが聞こえてきます。「聞」という世界は、聞く世界ではなく、聞こえてくる世界だなぁと収穫し忘れたジャガイモから教えてもらいました。



ひとくち法話

ほうりんほうじゅ

宝林宝樹 (1)

最近、お隣さんの畑を少しお借りして野菜作りを始めました。ジャガイモを植えようと土起こしをしていると、昨年収穫し忘れたジャガイモがいくつか出てきました。このジャガイモは、先日、八十歳でお浄土へと帰られた隣のおじいさんが育て収穫し忘れたものです。生前のおじいさんの日課は畑仕事でした。収穫したての美味しい野菜を孫たちに食べさせてあげたいといつも話しておられました。収穫し忘れたそのジャガイモを一つ手に取ると、朝から晩まで汗を流して畑を耕しているおじいさんの姿が思い返されるとともに、ジャガイモに込められたおじいさんの深い愛情と願いが聞こえてきます。「聞」という世界は、聞く世界ではなく、聞こえてくる世界だなぁと収穫し忘れたジャガイモから教えてもらいました。

